

東海第二原発の  
再稼働は  
あり得ない

# めざそう！原発の無い社会を 創ろう！持続可能な社会を



## 3・11は終わっていない



東日本大震災から間もなく11年が経とうとしています。福島第一原子力発電所(以下、福島原発)の過酷事故で、松戸市は200km離れているにも関わらず、放射能汚染のホットスポットになりました。あの時、子どもや自分たちの健康を心配した松戸市民がどれほどいたことでしょうか。

今もなお「放射能緊急事態宣言」は解除されておらず、放射能の流出は続いています。爆発した福島原発が暴走しないよう、常に冷やし続けるなどの結果、放射性物質を含んだ大量の汚染水(処理水という言い方はごまかしです)は増え続けています。国はこの汚染水を海に流す計画ですが、許されないことです。

## 広域避難協定は現実的ではない

“東海第二原発の原子力災害に伴う広域避難協定(以下、広域避難協定)”をご存知ですか?東海第二原子力発電所(以下、東海第二原発)は茨城県東海村にあり、松戸市から100km(福島原発まで距離の半分!)しか離れていません。この広域避難協定とは「東海第二原発が放射能流出事故を起こした際、東葛6市で44,000人の避難民を受け入れる」というもので、2019年(令和元年)に東葛6市と水戸市との間で協定を結んでいます。松戸市は16,000人を受け入れる計画になっています。しかし松戸市議会の一般質問等で、避難者の受け入れ可能人数の根拠が、無いに等しいことがわかりました。

## 受け入れ避難者数『松戸市は16,000人』の根拠は?

2016年(平成28)3月、千葉県からの要請を受け、松戸市は「2,700人の受け入れが可能」と回答→千葉県からの市町村対象の骨子案で「7,500人を受け入れてほしい」との“調整案”が示される→2017年(平成29)、千葉県より「受け入れ指数」なるものが示され、松戸市は14,420人の受け入れが原則と示される→松戸市は「避難者1人当たりの面積を4㎡で計算し最大約1万人受け入れ可能」と伝える→千葉県から「避難者一人当たりの面積を2㎡とする」との連絡→結果的に「松戸市の受け入れ避難者数は16,000人」と調整され決定

この経緯を理解できましたか?受け入れ可能人数【2,700人】が、どうして【16,000人】になったのか。“調整”とは何か??どう見ても“再稼働のための数合わせ”と言わざるを得ないでしょう!



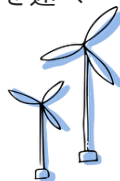
## 水戸地裁で東海第二原発運転差し止め判決!

そんな中、2021年3月、東海村の住民他による「東海第二原発運転差し止め訴訟」で、水戸地裁はその訴えを認める判決を出しました。判決理由では「避難計画やそれを実行する体制が整えられているというにはほど遠い状態で、避難体制は極めて不十分」とされました。実際、東海第二原発の30km圏内には6市合わせて96万人もの住民が住んでおり、避難計画の策定は極めて難しいのが現状です。

## 柏市長は「再稼働しないことが望ましい」と答弁

柏市の太田和美市長は、12月議会の東海第二原発の再稼働に関する議会質問に対し「原発事故の深刻さは重々承知しており、再稼働しないことが望ましい」と答弁。傍聴していた市民が思わず拍手するという一幕がありました。自治体の首長がまっすぐに考えを述べた姿に感動しました!

「国の専権事項なので答える立場にない」と言い続けている、松戸市の本郷谷健次市長にも、ぜひ「再稼働を望まない」と言ってほしいです。



## 持続可能な松戸市をめざして!

私たち人間が生きる上で欠かすことができない水と空気、大地と食べ物…。松戸市は、福島原発事故によりそれらが汚染される経験をしました。私たちはもう二度とあの経験を繰り返してはなりません。核物質は暴走し始めたら誰にも止めることができないのです。子どもたちの未来に、放射能で汚染されない、持続可能な環境を残したいです。そのためにも原発の再稼働を止めるために力を合わせていきましょう。

## 3月議会の予定

- 2月14日(月) 請願・陳情提出期限(正午)
- 2月24日(木) 定例会招集日
- 25日(金) 各常任委員会(先議議案)
- 3月2日(水) 本会議(先議議案採決)
- 3日(木)・4日(金)・7日(月) 本会議(一般質問)
- 8日(火) 総務財務常任委員会
- 10日(木) 健康福祉常任委員会
- 11日(金) 教育環境常任委員会 **増田の担当**
- 14日(月) 建設経済常任委員会
- 15日(火)・18日(金)・22日(火)・23日(水) 予算審査特別委員会 **増田の担当**
- 25日(金) 本会議(最終日)



## ナチュラルライフのすすめ

### 天然木はウイルス不活性化に効果あり?

平成28年に奈良県が行った実証事業において、天然スギ材とヒノキ材によるインフルエンザウイルスの不活性化効果が明らかになっていましたが、さらに2021年10月、ヒノキの抽出オイルを主成分としたミストが新型コロナウイルスを不活性化させる効果があると確認された、とのこと(福島民報)。これを機に、日本にあるたくさんの森林が見直されてほしいですね。

新築や改装をご検討の方は内装の一部にいかがですか?そして、保育所や小中学校の一部にでも使えたら素晴らしいですね☆

市政に関する  
ご意見やご要望、  
お受けしています!

松戸市議会議員 **増田かおる**

- ✉ matsudoshi.masuda.kaoru@gmail.com
- 🌐 http://www.masuda-kaoru.net/
- 🏠 〒271-0096 松戸市下矢切 89-4
- ☎ Tel/Fax 047-361-2103



## おしゃべりカフェ & 議会報告会

\*2月17日(木) 午前10時30分~12時30分

## ツキイチ相談会

\*4月2日(土) 午前10時30分~12時 \*5月未定

どちらも会場は蔵のギャラリー・結花(ゆい)

松戸市下矢切 89-4 電話 361-2103